

第 7 表

府県別上水道、簡易水道および専用水道の現況

「上水道業務統計調査」および「全国水道施設調査」による。年間の数字は年度間の実績をその他の項目は年度末現在を示す。用途別年間給水量の内事業用は営業用と工場用とを合したものである。なお普及率は給水人口を総人口で除したものである。

府 県	上 水 道								簡 易 水 道			専 用 水 道	
	管路延長 千m	給水人口 千人	用途別年間給水量 千m ³		1日当り 最大 給水量 千m ³	普及率 %	給水人口 千人	実績年間 給水量 千m ³	普及率 %	給水人口 千人	普及率 %		
			総 数	(内)家庭用								(内)事業用	
昭 和 42 年	139 980	63 126	5 101 037	3 094 513	1 341 042	25 303	63.0	9 320	484 656	9.3	2 454	2.4	
北 海 道	5 520	2 734	158 922	83 953	37 351	823	52.4	427	26 629	8.2	283	5.4	
青 森 県	1 619	677	33 776	19 498	7 075	178	47.4	201	8 285	14.1	14	1.0	
岩 手 県	998	434	22 985	10 890	5 338	128	31.0	143	8 210	10.2	46	3.3	
宮 城 県	2 390	1 023	57 487	32 422	19 080	294	57.7	175	8 794	9.9	28	1.6	
秋 田 県	1 119	429	24 214	12 649	4 961	130	33.9	261	10 373	20.6	29	2.3	
山 形 県	2 150	635	36 142	21 321	9 050	202	50.8	157	8 282	12.6	9	0.7	
福 島 県	2 116	831	57 345	26 701	18 394	284	42.2	179	9 165	9.1	50	2.5	
茨 城 県	1 502	542	30 029	19 431	5 947	153	26.2	247	5 944	12.0	57	2.8	
栃 木 県	1 258	540	35 875	16 865	14 251	183	35.3	82	7 705	5.4	30	2.0	
群 馬 県	2 573	910	66 946	40 495	22 341	335	56.1	285	15 722	17.6	15	0.9	
埼 玉 県	5 585	2 204	142 482	112 588	20 624	658	66.4	189	8 478	5.7	66	2.0	
千 葉 県	3 958	1 475	95 720	84 181	8 089	471	51.1	138	5 927	4.8	96	3.3	
東 京 都	11 844	9 912	917 532	878 422	9 849	4 608	88.8	54	3 517	0.5	373	3.3	
神 奈 川 県	9 079	4 330	465 262	220 761	193 112	2 052	90.9	141	1 152	3.0	90	1.9	
新 潟 県	4 617	1 428	98 823	64 664	18 718	505	59.7	290	13 977	12.1	12	0.5	
富 山 県	1 859	532	32 026	17 628	9 838	203	51.9	100	7 003	9.8	19	1.9	
石 川 県	1 787	547	45 185	23 955	17 423	254	55.4	122	7 049	12.3	10	1.0	
福 井 県	1 232	352	21 350	13 161	5 405	128	47.0	169	8 195	22.6	12	1.6	
山 梨 県	910	374	28 282	17 192	8 174	151	48.9	217	11 388	28.4	3	0.4	
山 崎 野 郎 県	4 435	1 168	86 449	44 897	28 029	459	59.7	373	21 881	19.1	13	0.7	
岐 阜 県	2 157	756	46 401	28 990	12 210	253	44.5	377	19 636	21.9	57	3.3	
静 岡 県	4 848	1 830	142 075	76 089	39 239	700	61.4	475	30 216	15.9	62	2.1	
愛 知 県	8 593	3 612	288 574	168 240	93 644	1 389	72.3	613	35 105	12.3	173	3.5	
三 重 県	2 310	728	62 465	30 735	24 241	290	48.0	292	12 905	19.3	39	2.6	
滋 賀 県	1 736	442	26 171	17 309	5 599	138	51.5	137	7 633	16.0	19	2.2	
京 都 府	2 739	1 718	143 470	15 143	7 084	706	79.8	147	8 450	6.8	25	1.2	
大 阪 府	9 434	6 731	729 643	292 102	347 239	3 471	96.3	47	2 834	0.7	44	0.6	
兵 庫 県	6 104	3 491	283 960	156 841	89 741	1 383	79.0	295	18 688	6.7	83	1.9	
奈 良 県	2 174	572	38 303	24 695	8 036	192	67.0	73	3 705	8.5	12	1.4	
和 歌 山 県	1 352	582	45 613	23 238	16 473	247	56.2	119	7 699	11.5	9	0.9	
鳥 取 県	1 324	323	22 744	17 199	2 418	118	56.2	121	6 766	21.0	15	2.6	
島 根 県	1 267	317	19 807	10 139	7 193	107	39.5	139	7 787	17.3	6	0.7	
岡 山 県	3 238	927	75 685	33 422	24 648	409	55.7	145	7 227	8.7	25	1.5	
広 島 県	3 400	1 360	123 866	76 580	38 314	608	58.2	131	5 762	5.6	28	1.2	
山 口 県	1 972	841	96 431	36 755	48 436	466	55.0	113	6 338	7.4	36	2.4	
徳 島 県	1 226	375	23 007	13 989	5 223	135	46.6	118	4 832	14.7	17	2.1	
香 川 県	1 423	514	31 809	15 345	10 051	171	57.0	90	5 187	10.0	9	1.0	
愛 媛 県	1 628	611	37 106	21 338	9 250	189	42.6	324	16 752	22.6	43	3.0	
高 松 県	622	312	24 651	12 216	7 115	143	38.9	185	12 555	23.1	5	0.6	
福 岡 県	5 301	2 426	165 314	109 046	40 710	850	60.6	142	7 154	3.6	286	7.1	
佐 賀 県	1 091	363	18 053	10 964	4 275	97	41.9	128	6 411	14.8	29	3.3	
長 崎 県	1 801	830	45 584	32 550	7 881	262	50.9	336	14 095	20.6	42	2.6	
熊 本 県	1 497	636	42 239	32 970	2 441	223	36.1	220	9 549	12.5	70	4.0	
大 宮 市	1 562	525	37 124	30 476	3 351	184	44.8	162	9 154	13.8	38	3.2	
宮 崎 県	1 734	454	26 163	17 186	4 492	133	42.1	100	5 075	9.3	15	1.4	
鹿 児 島 県	2 878	775	47 946	30 284	8 689	239	42.5	341	15 465	18.7	13	0.7	

資 料 厚生省環境衛生局「水道統計」

第 11 章
運 輸、通 信

第11章 運輸および通信

道路概況

府下における昭和43年3月末現在、道路法の適用される国道以下道路の実延長は、1万3,988kmで、うち規格改良済道路の実延長は6,080km、これは総実延長の40%を越えている。または装道路は6,103kmで、前年に対して13%余りの増加となり、府下の道路の状況は年々向上を続けている。

一方、未改良道路の実延長は7,909kmにおよんでいるものの、そのうち自動車(4トン積の普通貨物自動車)の交通不能道路は3,031kmで約90km前年に比べて減少した。

しかしながら、昭和30年代以降の高度な産業経済の発展成長は急速な情勢変化をもたらした。特にモータリゼーションの著しい進展により道路需要は一段とひっ迫の度を強め、交通停滞現象が多発することとなった。

こうした中で、国や地方では道路の拡張整備、パイパスの新設、高速道路の建設など対策の樹立とその実現につとめている。特に大阪府では10大放射線、3環状線と呼ぶ画期的な幹線道路の建設に着手し、府下の開発と同時に交通難による都市機能の回復を図りつつある。

自動車

昭和43年度末現在における府下の自動車(登録)数は69万台となり、このほか軽自動車が34万8,000台、合計103万8,000台をかぞえることとなった。前年に比べると登録車両は約17%の増加となり、その増勢は依然としておとろえていない。また地域別にみると大阪市内よりも衛星都市での増加が目立っている。特に大阪市の自動車数が府下全体の50%を下まわったのは昭和43年度にはじめてみられる傾向である。

一方府下の自動車交通量は経済活動の活発化ともあいまって著しく増加している。これを主要交差点別の交通量でみると、最高は梅田新道の1分間98.8台、つづいて守口市大日の98.6台、以下阪神前、本町4丁目、淀屋橋となっている。特に梅田新道、守口市大日ではピーク時の午後3時から5時までの1分間に平均160台以上の通過車両がある。このような状態は年々交通マヒの激増を招いている。昭和43年には500m以上の車列が30分以上継続した交通停滞が年間11,424回におよび、前年に比べて32%と顕著な増加を示した。また交通マヒも都心部から都市周辺部へと拡がりつつある。

鉄軌道

大都市地域への業務機能の集中と人口増加との外延的

拡大は、都市部への交通需要をますます増大させている。このように増大する交通需要に対して巨額の投資が行なわれ、特に大阪では万国博を目標に精力的に施設整備が進められている。

さて各ターミナルにおける乗客人員をみると大阪の玄関、国鉄大阪駅が1日37万人、阪急梅田では32万人、阪神梅田は12万人をかぞえ、また南大阪方面では近鉄阿倍野橋の13万人、国鉄天王寺の7万人をはじめ、近鉄上本町ならびに南海難波がそれぞれ16万人をかぞえている。このほか国鉄京橋の15万人など国鉄、私鉄、地下鉄などの乗換駅で乗客の数が多くなっている。

また、大阪市では明治36年から「市民の足」として親しまれてきた市電は切迫した交通戦線にはついてゆけず、ついに44年3月末をもってその姿を消すこととなった。それに変わって地下鉄の建設が急ピッチで進められている。

海上輸送

後背に阪神工業地帯を擁した大阪府下の港は、一般に原材料を輸移入し製品を出荷するため、輸移入貨物が輸移出のそれを大きく上まわっている。43年度も1年間の海上出入貨物の70%以上が輸移入で占められているが、このうち50%を超えるものが大阪港で扱われている。

一方年間における入港船舶トン数をみると、各港全体で9,820万トンで前年の16%増となった。これは堺泉北臨海工業地帯の開発が進むにつれ、堺泉北港、阪南港への入港船舶が増加したという要因が大きい。しかし依然として大阪港への依存度は高く、全体の65%を占めている。また入港船舶数では、22万隻のうちその46%にあたる10万隻が大阪港を使用している。

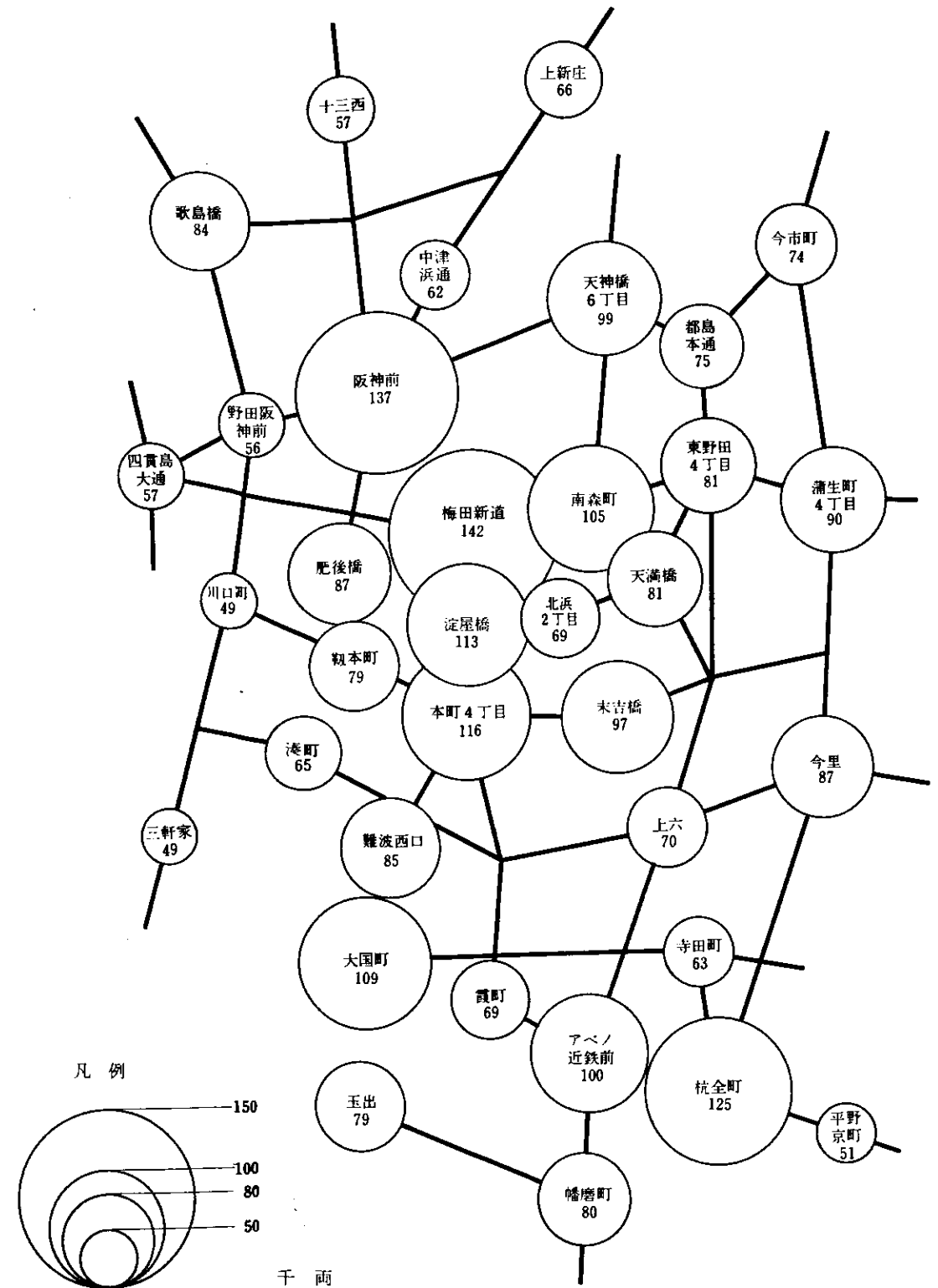
電話

府下における開通電話数は、昭和41年度に100万台を越えたのちも毎年15%に近い伸びをみせ43年度は132万台に達した。人口100人当り普及率でも昭和40年度にくらべ7件の増加に近い18件となったものの、一方では加入申込積滞数が年々増加し昭和43年度には約22万件をかぞえるにいたった。

なお府下における電話普及度の高い地域は、大阪市の24.3件のほか箕面市の18.6件、東大阪市の16.5件、藤井寺市の16.2件があるが、昭和43年度末現在で貝塚市、岬町を除いて、いずれも人口100人当り10件以上の普及率をみせている。

交差点別、自動車交通量

第14表参照



第4表 国有鉄道各駅別貨物運輸状況

前表頭注参照 貨物収入の総数と内訳の差は雑収入。

Table with columns: 駅別, 発送, 到着, 貨物収入. Rows include 東海道本線, 環状線, 野大, 桜島線, 安核大, 片町線, 津四住徳放片淀, 関本, 阪和線, 和泉, 泉砂.

資料 日本国有鉄道関西支社「駅勢報告年報」

第5表 府下私鉄各駅別乗車人員

南海電鉄、近畿日本鉄道は43年中の1日平均京阪神急行電鉄、京阪電鉄、阪神電鉄は交通量調査による。

(印は乗換駅を表す。)

Table with columns: 駅名, 乗車人員 (総数, 定期, 定期外). Rows include 南海本線, 京阪本線, 野田線, 高野線, 京阪本線, 野田線, 高野線, 京阪本線, 野田線, 高野線.

資料 各私鉄本社

第5表

府下私鉄各駅別乗車人員(続)

Table showing passenger statistics for private railways in the Osaka area. Columns include station names, total passengers, and breakdown by period (regular, irregular, etc.).

第6表

大阪市高速鉄道(地下鉄)駅別乗降人員

43年11月12日実施の交通調査による。

Table showing passenger boarding and alighting statistics for Osaka Metro stations. Columns include line names, station names, and passenger counts.

資料 大阪市交通局。

第7表

交通公社等旅客あつ旋および荷物扱状況

本表は昭和43年度未現在のものである。

Table showing passenger and cargo handling statistics for various transportation companies. Columns include company names, passenger counts, and cargo handling details.

資料 日本国有鉄道関西支社

第 8 表

大 阪 市 営 電 軌

車両数、営業キロ数は各年度末現在数である。

Table with 10 columns: Year, Vehicle Count, Operating Kilometers, Passenger Count, Revenue, and Fuel Consumption. It is divided into two sections: '路面電車' (Tram) and '高速鉄道(地下鉄)' (High-speed Rail/Underground).

資料 大阪市交通局企画課。

第 9 表

私 営 鉄 道 事 業 概 況

大阪府内に本社を有する6社のものをまとめたもので、いずれも年度中のものであるが、車両数は各年度末現在の保有数で機関車、客車その他を含む。

Table with 10 columns: Year, Vehicle Count, Operating Kilometers, Freight Volume, Revenue, and Expenses. It details the performance of private railway companies.

資料 大阪陸運局「陸運要覧」。

第 11 表

主 要 交 差 点

昭和43年5月23日に実施した交差点別交通量調査の結果で、7時～19時の12時間について橋筋歩道通行者を方向別に調査したものである。

Table with 7 columns: Direction, Tenmebashi, Umeda, Nishinari, Tenmoku, Nishi, and Tsurumibashi. It shows pedestrian traffic volume at various intersections.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

バ ス 事 業 概 況

Table with 10 columns: Vehicle Count, Operating Kilometers, Passenger Count, Revenue, and Fuel Consumption. It is divided into '無軌条電車(トロリーバス)' (Trolleybus) and '乗合自動車' (Motorbus).

第 10 表

私 営 乗 合 自 動 車 輸 送

昭和41年度以前は、大阪府下に本社を有する26会社のものをまとめたものである。昭和42年度以降は大阪府下のすべてのものをまとめたものである。車両数は年度末現在数である。

Table with 7 columns: Year, Vehicle Count, General Passenger, Special Passenger, Sightseeing Bus, and Driver. It details private motor bus operations.

資料 大阪陸運局「陸運要覧」。

歩 行 者 交 通 量

調査したものである。

Table with 6 columns: Benjochi, Tenmebashi, Umeda, Abeno, Nishi, and Sanjo. It shows pedestrian traffic volume at specific locations.

第 12 表

交通停滞発生状況

交通停滞とは500m以上の渋滞車列が30分以上継続した状態をいう。

区 分	総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
昭和 40 年	4 686	207	423	484	407	315	217	210	109	462	414	582	856
41	6 772	259	551	690	734	366	343	416	270	527	751	738	1 127
42	8 647	449	651	1 004	730	774	508	628	462	667	724	872	1 178
昭和 43 年	11 424	517	934	1 026	951	896	688	790	534	902	1 202	1 242	1 742
曜 日 別													
月	1 879	52	157	165	139	174	93	143	72	176	181	201	326
火	1 817	103	125	160	194	108	72	145	71	142	213	187	297
水	1 759	120	136	106	129	164	120	184	62	129	179	178	252
木	1 594	65	190	126	122	148	97	96	92	111	160	174	213
金	1 850	69	113	169	150	144	94	110	92	130	218	244	317
土	2 251	100	202	265	184	138	196	106	127	184	215	222	312
休 祝 日	274	8	11	35	33	20	16	6	18	30	36	36	25
時 刻 別													
6 時～8 時	145	4	6	6	5	17	21	18	11	12	21	12	12
8 ～10	2 508	88	197	192	205	230	158	217	138	232	289	245	317
10 ～12	3 565	165	305	367	304	299	225	236	185	264	344	340	531
12 ～14	343	24	23	31	26	37	15	21	8	24	36	46	52
14 ～16	2 844	117	241	260	238	172	141	169	95	183	274	370	584
16 ～18	1 805	100	156	154	153	137	100	116	72	172	209	207	229
18 ～20	187	19	4	16	20	4	19	10	14	14	28	22	17
20 ～24	27	-	2	-	-	-	9	3	11	1	1	-	-
地 点 別													
茨 田 浜	63	9	26	12	6	1	1	1	-	1	-	5	1
四 貫 島 大 通	388	27	38	45	31	26	30	45	36	30	38	15	27
伝 法 町	117	15	13	12	10	8	15	15	10	4	11	4	-
日 通 前	56	-	3	10	4	4	2	1	2	6	6	5	13
阿 倍 野 近 鉄 前	424	46	34	28	23	26	38	44	35	32	26	43	49
大 鉄 局 前	73	2	2	3	2	5	2	9	4	5	16	12	11
本 町 4	154	15	16	15	12	16	12	6	1	15	9	19	18
中 央 市 場 前	162	3	11	18	12	8	8	13	8	12	11	18	40
本 町 2	121	13	11	8	12	7	8	10	6	10	9	7	20
上 本 町 2	122	8	14	8	9	14	12	12	2	10	11	3	9
浄 正 橋	23	-	3	3	2	1	1	-	-	-	-	2	11
阪 急 前	178	11	10	17	15	8	11	10	14	21	33	16	12
中 海 老 江	86	2	8	4	7	11	8	11	3	10	10	5	7
国 分	980	38	73	75	90	92	46	52	77	96	109	112	120
赤 井	20	-	-	2	2	1	-	-	-	5	2	2	6
そ の 他	8 457	328	672	766	714	668	494	561	336	645	911	964	1 398
時 間	16 154	703	1 307	1 590	1 395	1 226	859	1 059	-	1 881	1 850	1 715	2 382

資 料 大阪府警察本部 交通情報センター。

第 13 表

大阪市内主要路線の車両交通量

主要路線について実施している路線別交通量調査の結果で7時～19時の12時間にわたり調査地点を通行した車両について往復の流れをそれぞれ一つとして計上したものである。なお、軽車両は自転車、荷車等のことである。

路 線 名	調 査 地 点	昭和42年11月17日(曇)				昭和41年11月8日(曇)			
		乗 用 自 動 車	貨 物 自 動 車	二 輪 (含 軽 原 付)	軽 車 両	乗 用 自 動 車	貨 物 自 動 車	二 輪 (含 軽 原 付)	軽 車 両
御 堂 筋	北区堂ビル前	34 421	18 214	3 124	1 140	34 933	20 007	3 834	1 316
堺 筋	東区平野町2丁目付近	16 413	8 741	1 337	464	16 453	8 305	1 844	873
松 屋 町 筋	南区末吉橋交さ点南方100m	12 354	17 528	2 878	882	10 426	19 652	3 248	1 112
南 北 線	西区肥後橋交さ点南方300m	20 604	17 004	2 844	844	17 500	13 044	1 937	728
天 満 川 口 線	東区北浜3丁目付近	12 456	12 176	1 081	486	11 497	9 871	1 221	631
大阪枚岡奈良線 (高津線)	南区高津小学校前	13 606	9 982	1 423	529	13 006	9 919	1 535	464
国道172号線 (大阪港線)	港区市岡元町2丁目付近	9 370	11 369	1 695	1 565	8 801	13 112	1 948	1 714
国道1号線 (住道大阪線)	都島区国鉄大阪環状線ガード下	16 928	21 718	2 510	1 399	16 098	19 896	3 385	1 017
国道1号線	旭区今市町交さ点北方50	17 613	23 280	2 586	1 009	17 248	28 763	3 769	1 271
大阪枚岡奈良線	東成区東成郵便局前	11 570	22 956	2 847	1 043	11 311	22 574	3 022	1 234
大阪和泉南線	住吉区播磨町交さ点南方50m	14 326	20 662	1 885	816	12 329	16 919	2 976	828
国道26号線	西成区南海高野線ガード下	19 626	30 339	2 820	1 445	18 569	28 463	3 776	2 717
国道25号線	東住吉区平野警察署前	12 777	26 985	3 635	2 903	10 235	23 955	3 450	3 465
国道176号線 (福知山大阪線)	東淀川区十三大橋北詰	19 024	22 176	2 134	818	21 910	24 724	3 188	824
大阪高槻京都線	東淀川区長柄橋北詰東方阪急京都線ガード下	17 022	33 654	2 012	182	16 980	31 449	2 362	592
国道2号線	西淀川区野里交さ点北方100m	14 696	36 140	1 416	802	18 568	30 434	2 321	886
本町左専道線	東区本町橋西詰	17 292	17 801	2 382	999	15 586	16 548	2 558	918
森の宮天王寺線	天王寺区下味原交さ点南方50m	11 086	16 135	1 746	627	10 025	16 555	2 590	710
九条今里線	南区長堀橋交さ点西方50m	17 737	29 666	3 311	1 138	11 628	24 599	2 519	703
福島恵美須町線	西区白髪橋交さ点南方100m	4 218	7 929	625	469	4 611	8 204	715	387
難波境川線	浪速区桜川2丁目交さ点西方100m	8 653	14 403	927	421	8 135	13 650	1 332	575
国道25号線 (大國町寺田町線)	浪速区恵美須町交さ点東方50m	9 499	19 632	2 115	881	9 462	20 959	2 925	1 124
大阪臨海線 (野田桜川住吉線)	福島区玉川町3丁目付近	8 625	26 193	1 240	985	8 520	26 848	1 574	948
尼崎平野線	阿倍野区アポロ座前	13 497	13 718	1 815	917	13 210	15 199	2 616	1 197
本田大運橋線	大正区三軒家交さ点南方50m	7 564	17 522	1 034	807	6 637	17 404	1 484	848
扇 町 線	北区大融寺町付近	18 796	13 981	1 430	669	19 108	12 851	2 029	859
難波足代線	生野区大池橋交さ点西方100m	14 073	24 982	2 887	1 957	14 771	26 962	5 990	2 836
北 大 阪 線	大淀区中津南通2丁目付近	9 251	22 184	991	181	4 743	13 848	726	170
福 島 桜 島 線	此花区四貫島大通3丁目交さ点西方50m	5 260	12 554	527	389	5 273	13 739	645	398
大阪環状線 (平野柴谷線)	東住吉区田辺本町6丁目付近	10 718	18 519	2 271	963	8 757	15 090	3 409	1 161
大阪環状線 (森小路大和川線)	城東区白山町付近	10 093	23 653	3 334	1 666	11 629	24 898	4 824	2 782
上 本 町 線	天王寺区上本町4丁目付近	15 993	12 691	2 095	854	15 573	12 184	2 954	1 057
国道43号線	西淀川区大和田西5丁目交さ点北方50m	7 464	25 150	903	468	9 679	25 788	1 274	998
国道163号線 (大阪上野線)	城東区森小路1丁目交さ点東方100m	9 207	23 203	1 661	696	9 875	20 442	3 018	1 210
大阪内環状線 (新庄大和川線)	東成区深江中2丁目交さ点南方50m	10 358	25 350	2 065	746	9 723	27 889	2 701	1 077

資 料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第14表

交差点別、時間別自動車交通量(昼夜間)

昭和43年5月23日7時から24日7時までの24時間中の自動車の調査対象区分別に交差点を直進、左(右)折したものに区分して調査した。なお1時間毎のものを2時間にまとめた。

Table with columns for intersection names, total volume, and time intervals (7-9, 9-11, 11-13, 13-15, 15-17, 17-19, 19-21, 21-23, 23-1, 1-7). Rows include various city and district intersections like 前目道町通, 目家町橋, etc.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第15表

府県別自動車流入交通量

Table showing vehicle inflow by prefecture (京都府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県, その他) for various routes and points. Columns include route name, intersection name, direction, and inflow/outflow counts.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第16表

市郡別登録

各年とも年度末現在数。ただし、各年共軽自動車を除く。自動車の種類は道路運送車両法に基くもので、自動車のうち

Table showing vehicle registration statistics by city and prefecture for various years (昭和41, 42, 43). Columns include total number, private use, and commercial use, broken down by vehicle type (普通, 小型四輪).

資料 大阪府陸運事務所登録課。

第17表 旅客自動車輸送実績

自動車輸送統計(指定統計第99号)によるものである。自動車輸送実績は登録自動車を対象としており、軽自動車および小型二輪車の実績は含まない。なお、消防車、ブルドーザなども除いてある。

Table showing passenger motor vehicle transport performance by month and year. Columns include total number of passengers, commercial use, and private use, with sub-categories for general and specific passenger types.

資料 運輸省「陸運統計月報」

自動車数

小型とはエンジンの総排気量が360ccをこえて2,000cc以下のもの、普通はそれ以上のものとして大別される。

Table showing the number of motor vehicles by type and use. Categories include small three-wheeled, private use, commercial use, and special use vehicles.

第18表 貨物自動車輸送実績

前表項注参照

Table showing freight motor vehicle transport performance by month and year. Columns include total tonnage, commercial use, and private use, with sub-categories for general and specific freight types.

資料 運輸省「陸運統計月報」

